

腎友さがみはら

腎友会ニュース 第144号

相模原市

発行日：平成29年1月1日

責任者：羽田 弥

相模原市南区南台 2-8-1-301 TEL042(748)3773



特別賞「勢至菩薩」

相模原クリニック 後藤正子さん

目次

・年頭所感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	・健康フェスタ 2016「腎臓病のお話と相談会」・・・・・・・・	8
・第62回ふれあい会日帰り旅行の報告・・・・・・・・	3	・第35回神奈川県腎友会ふれあい作品展報告・・・・・・・・	9
・ 投稿 「海鮮浜焼き珍道中」・・・・・・・・・・・・・・・・	4	・ 連載 透析黎明期の戦いと今日・・・・・・・・・・・・・・・・	10
・臓器移植啓発街頭キャンペーン実施報告・・・・・・・・	5	・活動日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
・第62回ふれあい会日帰り旅行 写真・・・・・・・・	6	・新入会員者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
・キャンペーン・フェスタ・作品展 写真・・・・・・・・	7	・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12

年頭所感

会長 羽田 彌



明けましておめでとうございます。平成29年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様方には昨年は、腎友会の諸活動に参加いただくなど種々ご支援・ご協力をいただき誠に有難うございました。

昨年は、5月に催し物でマリimba演奏が大好評であった第34回定期総会から始まり、7月には97名の参加者の下に第33回医療・栄養講演会並びに懇談会を、同じく7月に皆様方のアンコールに応じて二度目の桃狩り&温泉の日帰り旅行を実施しました。74名の参加者でした。また、8月には公明党市議団、9月には民進党市議団との懇談会に参加し、私達にとって極めて重要な重度障害者医療費助成制度、いわゆるマル障の継続などを要望しました。10月には恒例の相模大野駅北口で臓器移植啓発街頭キャンペーンを行い、啓発チラシなどを配りました。今回は、役員以外に一般会員の方2名、会員の奥様が1名にも参加いただきました。嬉しい限りです。秋の旅行は10月に千葉方面での海鮮浜焼きでした・初めての試みで、少々心配しましたが、結果、皆様に大変喜んでいただきました。このように、平成28年も会員の皆様及び関係の方々のご協力により活発に活動することが出来ました。感謝に堪えません

ただ一つ、残念なことがあります。会員数拡大です。毎年、会費納入が一段落する7月末でカウントしていますが昨年28年7月の会員は432名（賛助会員41名を含む）で、平成27年7月の440名より減少しています。少し過去を振り返りますと平成24年476名、平成25年468名、平成26年461名、平成27年440名で年々減少しています。この間、平成26、27年の2度にわたり、相模原市腎友会の活動の「見える化運動」を行い、告知チラシにより活動内容をお知らせしその後、一斉の勧誘活動を行いましたが期待通りの会員数増大には結び付きませんでした。会員数拡大はほんとうに悩ましい問題であります。

今年も恒例の活動を行ってゆきます。5月の定期総会では今年大好評だったマリimba演奏をお呼びしますので是非ご出席ください。旅行も2回行います。7月の医療栄養講演会と懇談会も開催します。10月の臓器移植啓発街頭キャンペーンは会員の皆様のご参加を募集します。是非ご参加ください。

今年も役員一同、会員の皆様に喜んでいただけるよう一生懸命がんばりますので、どうか昨年同様に、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。そして、今年は会員数において上昇に転じるよう頑張りますので新規導入患者の情報提供など会員数拡大には従来に増してのご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

第6 2回ふれあい会日帰り旅行の報告

今回旅行担当 相模原クリニック 稲田 稔

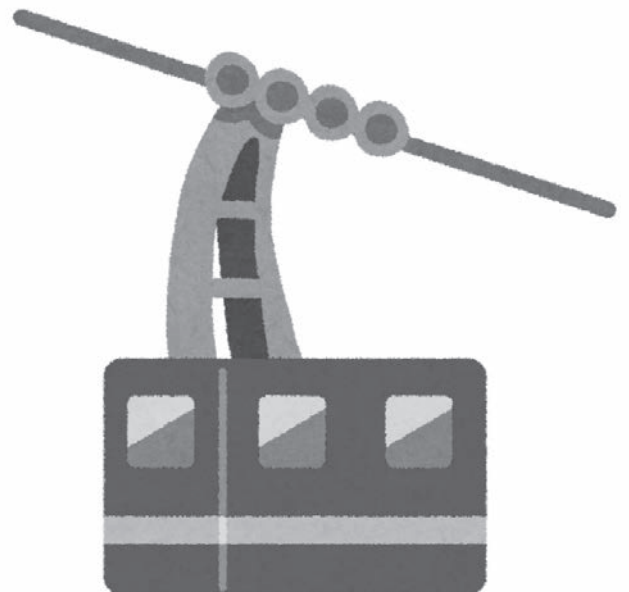
実施日 平成28年10月30日(日) 曇り時々小雨

- 1、行き先 千葉県富津市 海鮮浜焼き食べ放題、鋸山ロープウェイ、他
- 2、参加人数 会員48名と家族、賛助会員など33名 計81名
- 3、交通手段 相模原市提供の福祉バス2台(伊豆箱根登山バス)
- 4、行程 相模原市～大黒PA(2台合流)～東京湾アクアライン～館山自動車道～海鮮浜焼きザ、フィッシュ(昼食)～鋸山ロープウェイ(見物)～アクアライン海ほたる(休憩)～帰路～アクアライン～相模原市各地

6、コメント

出発時曇天だったが千葉へ着いても降り出しそうな空だった。海鮮浜焼き食べ放題、は11時の予約だったので少し早めに着いた。時間まで海鮮類のお土産売り場を覗いて皆さん沢山買い込んだ様です。時間になって海鮮浜焼き食べ放題の建物に移動してそれぞれ好みの魚介類をバイキング形式でテーブルへ運びコンロでジュウジュウ焼いて煙が舞う中をお腹いっぱい食したようです。遅れて入ってきた個人客は3時間待ちと聞いて帰ってしまう人達もいました、団体優先のようです。1時間半の制限時間でしたが時間は丁度よかったようです。食後バスに乗りすぐ近くに見える鋸山ロープウェイに、向かいました。ロープウェイに乗って頂上でもあいにくの曇り空で晴れていれば東京湾の全景、遠くは富士山まで見えると言われましたが残念でした。頂上での記念写真もロープウェイが1回30人ほどの乗車の関係で送れた人もいてバラバラになってしまいました。2時30分頃にバスに乗りアクアライン海ほたるに向かいました。以前、千葉の帰りに寄った時は、海ほたるでもう少し時間が欲しかったと言われましたので1時間の休憩時間を取りました。ここでも海ほたる名物の焼き物やソフトクリームなど召し上がったようです。今回は早めに帰路に向かいましたので帰りの渋滞に会わずまだ明るい時間に相模原に帰ることが出来ました。

参加して下さった会員、家族の皆さん一日お疲れ様でした、幹事として行き届かなかった点お許し下さい。次回の旅行会も多くの方の参加をお待ち申し上げます。



投稿 「海鮮浜焼き珍道中」

相模大野内科腎クリニック 二ノ宮 美和子

10月30日、秋というより冬を思わせる寒さの中、相模原を後にした。日曜日なので混雑が予想されたが、バスはスイスイと進み途中大黒パーキングエリアで一号車と合流、千葉へと向かった。千葉というと、東京湾を隔てた遠い所という印象があったが、アクアラインを通してあっという間に着いた。窓の外は稲刈りを終えた田園風景が続き、どこで浜焼きをするのだろうと思っていると、突然、海が現れ目的地に到着した。どんよりとした曇天だったためか、海も荒々しく見えた。

いよいよ海鮮浜焼きの舞台『まるはま』さんへ。

会長のあいさつと乾杯はなし、店の注意事項を聞き、食べ放題は始まった。

皆、我先にと、ほたて、サザエ等の食材へと突進した。私はというと、その姿に圧倒され、しばし、トレイと tong を持って啞然とした。

たちまち、会場は、煙と貝類を焼く香ばしいにおいがたちこめた。

おいしそうにビールを飲む人。

次々に食材を上手に焼き、口にほおぼる人。

そして、私のように出遅れた上に、こがして食べられない人。

悲喜こもごも、予定は90分（団体では特例）だったが、終了時間を30分も残し、会場からは人の影は消えた。

自分の好きな物を自由に焼いてたべられてよかったと概ね好評だったが・・・

わたしは人が作って給仕してくれる方がいいと思った。

食欲を満たして、次は絶景スポットへ。

360度見渡せるというロープウェイに乗り、『鋸山』へGO。東京湾、太平洋が両方見えて期待を裏切らない風景だった。

ここまででも大満足の旅程だったが、最後に『海ほたる』にも寄り、おみやげをどっさり買い、帰路に着いた。

楽しい旅だった。わたしには、この旅は多くの人に支えられて実現したのだという感謝の気持ちが湧いてきた。

旅行幹事の稲田稔さん。

わたしたちの命を日々守ってくれている各病院のスタッフのみなさま。

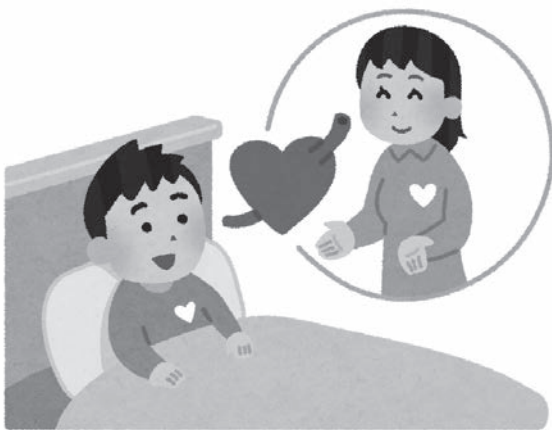
ありがとうございます。

臓器移植啓発街頭キャンペーン実施報告

去る10月2日（日）に恒例の臓器移植啓発街頭キャンペーンを小田急線相模大野駅北口ペデストリアンデッキにて行いました。今回も役員だけではなく、会員の皆様にもご参加を呼びかけましたところ橋本みなみ内科本院の舘盛正博さん、淵野辺総合病院の西川武士さん、森下記念病院の小谷喜藏さんの奥様にもご参加いただき総勢11人で行いました。

所定リーフレット「生命をつなぐ贈り物ってなあに？」及びティッシュに加えて10月15日に開催される「さがみはら健康フェスタ2016 腎臓病の話と相談会」の告知チラシを一般通行人に、子供さん連れには風船も手渡しました。今回は、例年になく受取りを拒否する人が多かったように思います。風船効果もあまり大きくなかったです。余計ことかもしれませんが、受取を拒否する時に、「結構です」「要らないです」とか言うのでなく「大丈夫です」と言う方がほとんどであり、日本語の使い方で非常に違和感を感じましたのは私だけでしょうか。受け取ってくれた人の中には「頑張って」と声を掛けてくれる人もいました。有り難いです。

配布部数は、当ペデストリアンデッキでの当初予定の1,500部は配布できず1,000部でした。残り500部について、役員の一人がポスティングで配布すると言って持ち帰ってくれました。なお、例年通り、さがみはら健康フェスタ2016の来場者へのおみやげ袋に500部同封してもらいました。（羽田記）





第 62 回ふれあい会日帰り旅行 鋸山にて H28.10.30



ふれあい会日帰り旅行 海鮮浜焼き



健康フェスタ 2016 (ウェルネスさがみはら)



臓器移植啓発街頭キャンペーン (相模大野駅)



ふれあい 作品展



コスモス



手まり

7位入賞 岩澤 浩子 様



ジャガイモ

7位入賞 菊地原 静 様



ナツツバキ

健康フェスタ 2016 「腎臓病のお話と相談会」

開催日時 平成28年10月15日(月)

開催場所 ウェルネスさがみはら7階視聴覚室

去る10月15日(土)久しぶりの晴天の中「さがみはら健康フェスタ 2016」のプログラムの一つとしてウェルネスさがみはら 7階の視聴覚室にて「腎臓病のお話と相談会」を開催しました。77名の方が来て下さり賑やかに実施することができました。

さがみはら健康フェスタとは、日頃から健康に対する啓発活動をしている団体である「さがみはら市民健康作り会議」などが主催するものです・この会議の会長はNHKでもおなじみの長野信一先生です。私たち相模原市腎友会もこの会議のメンバーになっております。

今年の「腎臓病のお話と相談会」では、医療講演の講師に北里大学病院の腎臓内科科長・教授竹内康夫先生に、相談対応の先生には北里大学医学部腎臓内科学部準教授の佐野隆先生と竹内康夫先生の両先生に当たって頂きました。

はじめに主催者側のさがみはら市民健康作り会議を代表して、相模原市健康福祉局保健所地域保健課大沢一則課長が健康フェスタの趣旨についてご挨拶があり、続いて相模原市腎友会を代表して羽田会長が一般市民の皆様が透析にならないことを願って、この講演会と相談会を毎年行っているなど私たち透析者の思いについて挨拶をしました。

そして、竹内先生の「みんなで学ぼう～腎臓ってどんな臓器？腎臓病とは？～」の講演でスライドによる熱の入った講演で、腎臓の機能から始まり、CKDの定義とその養成、透析の原疾患の70パーセントを占めるまでになったとのお話の糖尿病腎症と良性腎硬化症についてなど広範囲の内容を大変わかりやすく解説して頂きました。講演中に質問を受けるなど工夫した、聞く人を引きつける手法には感銘しました。

相談会においては一人10分のところが30分と長くなる人もおり真剣さが伝わってきました。相談が終わった人からは「よかったです」「ありがとう」など聞いたとき本当にこの講演会と相談会に携わって良かったと思いました。相談者は8組10名でした。

私もこの講演を通して健康の大切さを学び、命の大切さを知りました。叶う事なら透析する前に聞きたかったです。まだ透析していない皆様には一人でも多くの方々にこの医療講演及び相談会を知って頂き腎臓病に関心をもっていただきたいと思います。

(工藤 記)

第 3 5 回 神奈川県腎友会ふれあい作品展報告

平成 2 8 年 1 1 月 1 0 日 (木) ～ 1 1 月 1 3 日 (日) かながわ県民センターの一階展示室に於いて開催。
皆様のご協力のもと、無事に終了することが出来ました。

展示期間中の入場者数は 3 日間で 2 8 8 名でした。

出品者数は 1 0 5 名、 1 3 5 作品、 2 1 4 個。うち相模原市腎友会からは 1 2 名、 1 4 作品、 2 4 個の作品のご協力を頂き有難うございました。

この作品展では来場者の方に好きな作品を選んでいただきその中から、 1 0 位までの入賞者を決めさせていただきます。

今回、相模原からは 7 位に 2 名の方が入賞されました。

橋本みなみ内科本院の菊地原 静様、相模原クリニックの岩澤 浩子様です。

更に特別賞を各地域から 1 名推薦することになり相模原地域からは、相模原クリニック会員のご家族、後藤正子様の油絵を選ばせて頂きました。理由は、毎回作品展にご協力をいただいている事、今回の作品の油絵「勢至菩薩」観ているだけで心が癒されたからです。

皆様、入賞おめでとうございました。

尚、今回ご協力いただいた会員さんは表の通りです。

病院・クリニック名	氏名	会員・家族	作品名	その他
橋本クリニック	江口 房子	会員	ブリザーブドフラワー	
橋本クリニック	江口 房子	会員	写真 オルゴール館	
橋本クリニック	江口 房子	会員	写真 強羅公園パイナップル	
橋本みなみ内科本院	菊地原 静	会員	植物画ナツツバキ・ジャガイモ	7 位入賞
森下記念病院	高野 智子	会員	書道「善」	
森下記念病院	高野 浩一	家族	書道「幸福」	
森下記念病院	高野 晃寛	家族	書道「環境」	
相武台ニーレンクリニック	清水 忍	会員	アロマソープ (M&P ソープ)	
相武台ニーレンクリニック	小久保きよ子	会員	犬のベスト	
相模原クリニック	後藤 正子	家族	勢至菩薩 油絵	特別賞
相模原クリニック	後藤 正子	家族	絵手紙	
相模大野内科腎クリニック	二ノ宮 美和子	会員	写真・花	
相模原クリニック	千葉 幸夫	会員	水彩画 虎	
相模原クリニック	岩澤 浩子	会員	押し花 「手まり」「コスモス」	7 位入賞
橋本みなみ内科本院	佐々木 庸生	会員	クリスマスの夜の願い事 押し花	

第8章・再び「ニーレ友の会」のこと

◆「ニーレ友の会」には若い患者が多いだけでなく、人材も恵まれていました。全腎協に会長・事務局長はじめ3名。東腎協にも会長・事務局長の2名。これら人材を出してもニーレ本体ではそれ以外の人が組織を守っていました。反面大きな代償も払いました。出向した5名中3名をこの初期活動の1,2年で失いました。この会だけでなく、全国で活動が故に命を落とした方が数多くいました。◆みなさん、今一度思いを馳せて下さい。透析機器を増やすこともできました。身障者手帳も獲得し、医療費も無料になりました。障害者年金も獲得しました。それには、この「命を顧みず行動した人たち」がいたことを・・・どうか無駄にしないでください。◆もう「金の切れ目が命の切れ目」の時代ではありません。「生かされているとか、延命治療している」などと言わないでください。社会復帰のために透析を受けているのです。社会に貢献して下さい。「いつ死んでもいいや」などと言わないでください。どうせ本気で思っていないのですから。◆「ニーレ友の会」の活動期間は約5年間。その間は機関紙「みちしるべ」も刊行されていました。各県に患者会が出来たことで活動を休止しました。◆しばらく時間をおいた平成2年に都内のホテルに30人ほどが集まり食事会をして解散式としました。

第9章・患者会の意義

◆患者会に入るメリット云々を言われる方が多くおられます。私はこう思います。私たちは既にそのメリットを受けているのです。医療費が無料になり、透析機器も十分設置され、心配なく透析を受けていられます。障害年金も獲得しました。鉄道、バス料金の半額も認定されました。自動車税の免除、NHK受信料など全腎協の働きで獲得した特典は沢山あります。去年、障害年金の改正の厚生労働省案にいち早く反応して、ほぼ現状維持を獲得したのも全腎協の働きがあったからです。もし、あの案が通っていたら、障害基礎年金(月6万5千円)分は減額になっていました。◆「1日コップ二杯くらいの水しか飲んではいけない」時代はとうの昔に終わりました。1回8時間から10時間行っていた治療もダイアライザーの進歩のおかげで4時間程度に短縮されました。輸血で凌いできた貧血も治療薬の開発で克服しました。◆しかし、透析治療は残念ながら対症療法にすぎません。尿毒症は死語になりましたが、骨がもろくなったり、末梢神経にマヒが起きたりします。週3日の拘束も社会復帰には障害になります。人工でない本物の腎臓・・・根本治療は「腎移植」か「ips細胞研究の発展」しかありません。◆合併症や高齢化に伴う「送迎問題」も非常に大きな問題です。このように個人で解決できない諸々の事柄が「全腎協」活動の柱です。現在透析を受けている自分のために・・・近い将来透析に入る人達のために・・・もしかすると透析を受けるかもしれない自分の子供のために・・・◆その患者会活動を支えるのが私たちの務めだと思います。私たちの会費がその支えになります。多くの方に会員になってもらい、支えていきたいものです。

記憶の有る内を書いてみました。一部は下記の資料を参考にしました。

1. 腎臓病と人工腎臓の現代史 有吉玲子著
2. 難病の海に虹の橋を 前田こう一著
3. 朝日市民教室 - 日本の医療 朝日新聞社編

活 動 日 誌

※ 1 氏名は参加者を示します。順不同です。

※ 2 「NPO 法人 れんきょう」或いは「連協」は、相模原市腎友会が加盟している「特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会」を示します。

09 / 18 (日) 県腎友会広報委員会 石亀

09 / 21 (水) 民進党相模原市総支部協議会との懇談会 館盛、加賀谷、羽田

09 / 21 (水) おおの駅前透析クリニック訪問 館盛、加賀谷、宅田、羽田

09 / 25 (日) 臓器移植啓発街頭キャンペーン準備作業

館盛、平野、加賀谷、柴崎、北村、工藤、二ノ宮、小久保

09 / 29 (木) 県腎友会常任理事会 館盛

10 / 02 (日) 第 206 回役員会

館盛、加賀谷、平野、石亀、石田、柴崎、工藤、関口、二ノ宮、小久保、羽田

10 / 02 (日) 臓器移植啓発街頭キャンペーン

館盛、加賀谷、平野、石亀、工藤、二ノ宮、小久保、羽田

< 会員参加 >

西川武士さん（淵野辺総合病院）、館盛正博さん（橋本みなみ内科本院）、

小谷喜蔵さんの奥様（森下記念病院）

10 / 05 (水) 東芝林間病院訪問（組織拡大活動）館盛、加賀谷、羽田

10 / 09 (日) 腎友さがみはら 143 号印刷・発行

館盛、稲田、宅田、北村、小久保、工藤、中丸親子、加賀谷、柴崎、二ノ宮、羽田

10 / 09 (日) 県腎友会 40 周年記念誌委員会 平野

10 / 09 (日) 県腎友会広報委員会 石亀

10 / 15 (日) 健康フェスタ 2006「腎臓病のお話と相談会」

稲田、平野、小久保、加賀谷、工藤、北村、石亀、二ノ宮、羽田

< 賛助会員スタッフ参加 >

佐相孝子さん

10 / 23 (日) NPO 法人 れんきょう 講演会「成年後見人制度の事例と問題点」 柴崎、工藤

10 / 30 (日) 第 62 回ふれあい会日帰り旅行

館盛、平野、稲田、小久保、宅田、加賀谷、工藤、石田、田中、二ノ宮、川神、羽田

11 / 05 (土) ラジオ体操講習会 工藤

11 / 10 (木) ~ 13 日 (日) 県腎友会ふれあい作品展 小久保、二ノ宮、江口夫妻、加賀谷、羽田

11 / 11 (金) 相模原市福祉有償運送運営協議会（NPO 法人 れんきょう）羽田

11 / 16 (水) さあみはら市民健康づくり会議幹事会 工藤

11 / 21 (月) NPO 法人 れんきょう 理事会 羽田

11 / 29 (火) 中央林間小学校（4 年生）透析講話（大和市腎友会） 羽田

12 / 11 (日) 県腎友会広報委員会 石亀

12 / 18 (日) 第 207 回役員会

館盛、加賀谷、平野、宅田、北村、柴崎、工藤、関口、二の宮、小久保、稲田、羽田

12 / 22 (木) 相模原市社会福祉事業団評議員会 (NPO 法人れんきょう)

以上

新入会員者名簿

新入会者名簿

新規会員 10名

平間 繁様	相模大野内科腎クリニック
田村 信様	森下記念病院
小澤 フジエ様	森下記念病院
片山 清子様	森下記念病院
鈴木 俊棋様	橋本クリニック
藤田 生駒様	橋本みなみ内科本院
黒澤 五郎様	さがみ循環器クリニック
野口 邦子様	さがみ循環器クリニック
菊池 光江様	さがみ循環器クリニック
武藤 節子様	さがみ循環器クリニック



賛助会員 1名

幸野 幸宜様 森下記念病院



編集後記

年が明けて平成29年の発行となりました。

連載、最後になりました。9章の患者会の意義、深い意味のある言葉が綴られています。

今年が皆様にとって最良の年であります様、編集委員一同願っております。

本年も皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。